

参加グループ募集!!

(学校を通じて応募してください)

詳しくはウェブサイトで!
<http://www.mainichi.co.jp/event/nou-act/>

第2回

～地域との共生を求めて～

全国農業高校生 アクション

Planning

Original

Innovation

Idea

Renewal

第1回支援対象15グループの一例です。



農業高校などの高校生たちがグループで取り組む
農や食に関するプロジェクトや課題研究を支援します。
地元の農家ら生産者、JA、事業所、NPO、行政機関など
地域と連携した3カ年の活動計画を募集します。



◎全国15グループに 支援金20万円

◎さらに3年目の大賞グループには 奨学金50万円



農業高校(農業系学科があるなどの関連高校を含む)の生徒たちがグループで取り組む、農や食に関するプロジェクトや課題研究を支援・顕彰します。地域と連携した高校生たちの実地学習を奨励し、優れた事例を顕彰します。

本事業は特に、農家ら生産者をはじめ、地域のJA、企業・事業所、NPO、消費者グループ、行政機関などとの協働による高校生たちの取り組みを支援します。事業を通じて農業の担い手を育成し、地域産業やコミュニティを振興します。

3年間の取り組みを継続的に支援します!!

3カ年度を単位にした取り組みを対象とし、優れた活動計画のグループを選出して、初年度に支援金を助成します。さらに3年目に、優れた実績のグループを選出し、奨学金を贈ります。

アイデアや計画立案にとどまらず、実践の過程での試行錯誤や創意工夫が試されます。支援金を有効に活用することで、高校生たちには生きた学習ともなります。

第2回 募集



仲間たちとともに

まずはWebで応募を

表彰

大賞(奨学金50万円)
準大賞(奨学金20万円)



3年目

「活動成果」
公開プレゼンテーション
審査

募集は毎年度実施します!
各年度で15グループずつ選出します。

支援金を活用した取り組み

Webに

「活動計画」
応募

1年目

審査で
15グループ決定
(支援金20万円)

審査員

尾木 直樹さん
(教育評論家、法政大学特任教授)

上岡 美保さん
(東京農業大学国際食料情報学部教授)

川瀬 良子さん
(タレント、NHK「趣味の園芸やさいの時間」出演)

一瀬 裕一郎さん
(農林中金総合研究所主事研究員) ほか

審査員には「尾木ママ」も





※新規の取り組みのほか、先輩から引き継いだ取り組みもOKです。(ただし、審査対象は2018年度からの活動計画です)
※応募したテーマの範囲内なら、3年間の活動で軌道修正や取り組みの拡大・発展を認めます。

栽培技術の改善/
農産物の品質向上



6次産業化の推進をはじめ、
自由な発想でプロジェクトや
課題研究に取り組んで
ください。



消費者交流/食育/
地産地消



加工品づくり/
特産品・ブランド確立/
調理・レシピ開発



販路拡大/直売所・
レストラン運営/
伝統産品の見直し



自然環境保全/
資源活用/エコ導入



農業による高齢者支援/
福祉・介護連携



第1回(2017年度)は91高校から計115グループの応募があり、以下15グループが選ばれました。



支援対象15グループ(順不同)

北海道札幌高校
野菜専攻班
しほろ創生プロジェクト
～農産ブランド“チア”で地域を応援!!～



栃木県立鹿沼南高校
野菜研究班
トマトの汚れを一瞬で落とす
画期的な洗浄剤の発明



静岡県立富岳館高校
富岳特産物研究班
商品開発で眠った宝を呼び起こせ
～富士宮を落花生でLet's活性～



広島県立世羅高校
世羅茶復活 Team Green
世羅茶復活プロジェクト
～世羅茶花を世界に広げよう～



埼玉県立杉戸農業高校
杉農たまふわ
たまふわ物語
～地産地商ごちそうの創造～



愛知県立安城農林高校
Annou Mission
よみがえれ、安城に金色の宝物
～金依マクワウリ普及プロジェクト～



山口県立田布施農工高校
食品科学科☆米粉班
目指せ!究極の防災食!地域食材を
結集させたグルテンフリー米粉パンの
普及を目指して



宮城県農業高校
作物専攻プロジェクトチーム
名取に咲かせ日本酒の華
～環境に配慮した
未来創造型農業への挑戦～



神奈川県立中央農業高校
養豚部
地域資源を活用した
ブランド豚肉の開発・普及



京都府立桂高校
コーヒー豆の二次的利用に
関する研究班
廃棄物から食料生産をめざす
エコ・プロジェクト!



熊本県立菊池農業高校
グリ研めえめえ Bros.
命と文化が光る、笑顔の里づくりを
目指して～グリーン・ツーリズムで興す、
新たな農村文化とふるさとの未来～



山形県立置賜農業高校
置農豆ガールズ
豆ガールズプロジェクト・・・
豆育豆活で地域活性化



長野県下伊那農業高校
アグリ研究班畜産部
「南信州の救世主」
信州黄金シャモプロジェクト



大阪府立農芸高校
資源動物科酪農専攻
大阪酪農における
6次産業化の実現



鹿児島県立市来農芸高校
ツバキプロジェクト
ツバキプロジェクト
家畜にも人にも優しい畜舎の
あり方を考えて



募集要項

応募期間：4月20日(金)～6月30日(土)

応募資格

農業高校(農業系学科のある高校を含む)の生徒グループ
学年横断のグループを認め、卒業や新入によるメンバー入れ代わりも認めます。構成人数も問いません。同一校からの応募数の制限はありません。

募集内容

2018年度～2020年度の3カ年の活動計画。地域と連携した、農や食に関するプロジェクトや課題研究などの取り組みで、テーマ・課題は自由。クラブ活動、学科・コースの活動を含みます。未発表・既発表を問いません。(2017年度以前の活動実績は、審査では参考として取り扱います。学校農業クラブ大会など他事業への応募内容との重複も認めます)

応募方法

サイト (<http://www.mainichi.co.jp/event/nou-act/>) から応募してください。担当教員を通じて、サイト内の「応募する」から応募フォームに進み、必要事項を入力して応募登録してください。なお、応募の資料やデータについては、主催者による使用・公表を承諾するものとします。

応募期間

2018年4月20日(金)に募集開始。締め切りは6月30日(土)

選考審査

学識者らの審査で、支援対象の15グループを決定します。地域との連携をはじめ、実現性・独自性・自主性・発信力などを総合的に判断します。9月に毎日新聞紙上で審査結果を発表します。サイトでも公表します。

支援金

15グループには、支援金20万円を助成します。支援金は、当該学校の適正な管理の下で、3年間の取り組みに活用してもらいます。支援金を受けたグループには、各年度に活動報告を求めます。

大賞審査

2020年秋に、大賞審査を実施します。支援金を受けた15グループから絞り込み、最終審査に残ったグループの代表生徒を招き、公開プレゼンテーションによる審査会を開きます。大賞に50万円、準大賞に20万円の奨学金を贈ります。他に特別賞を授与する場合があります。



<http://www.mainichi.co.jp/event/nou-act/>

こちらから
応募して
ください!

主 催：全国農業協同組合中央会、毎日新聞社
協 賛：全国農業協同組合連合会
後 援：農林水産省、文部科学省、全国農業高等学校長協会、東京農業大学
問い合わせ：「農業アクション大賞」運営事務局<毎日新聞社 事業本部内>
Tel. 03-3212-0190 (平日10時～17時)



応募はQRコード
からも出来ます!